

## 2008年版 自動車用プラスチック部品成形加工メーカー総覧

編集・発行：	有限会社デジタルリサーチ
発売：	株式会社DELTA i.D. 総合研究所
発刊：	2007年10月
判型：	A4判
頁数：	317頁
価格：	95,000円(本体90,477円、消費税4,523円)

### 資料の特色

国内のプラスチック成形加工業界は自動車部品への傾斜を深めつつある。家電・OA・AV・携帯など弱電製品は東南アジア・中国での生産が中心になるなか、自動車産業は輸出主導であるが、好調な海外需要、ノックダウン部品の輸出に支えられ2006年度は国内生産が1,150万台を超えた。国内生産の今後については、各自動車メーカーとも海外生産を拡大する方向で動きつつあるため、不透明感はあるが、燃費向上のための自動車軽量化、モジュール化が進み、一体成形が容易な樹脂部品は今後とも増加すると思われる。耐熱部品への樹脂の適用、ゴム製品からのエラストマーへの転換など樹脂化の動きは依然として活発である。

弊社刊行「2008年版自動車用プラスチック部品成形加工メーカー総覧」は自動車用プラスチック部品成形メーカーの現況を企業個表形式で集成する。あわせて自動車産業の現状と加速度的に市場が拡大しつつあるアジア地域での自動車メーカー・自動車部品メーカーの生産概況、プラスチック部品の調達状況を調査する。

### 【主な内容】

自動車用プラスチック部品プラスチック成形加工メーカーを個表形式でまとめる企業個表編

主要な内外装部品メーカーの最近の経営戦略、技術開発、海外展開、企業提携などの現状をまとめたケーススタディ（豊田合成、河西工業、トヨタ紡織、三光合成、日本プラストなど）

アジア各国の自動車市場の現状と日本自動車メーカーの進出状況・自動車部品メーカーの進出状況・主要なプラスチック部品のサプライヤーを徹底調査

自動車メーカーのアジア戦略、自動車部品メーカーのアジア展開、アジア地区における主要なプラスチック部品のサプライヤーの生産拠点を調査

自動車内外装部品メーカー、自動車用プラスチック部品成形加工メーカーの最新動向を概観するための総合的な調査資料であり、アジア地域への自動車用プラスチック部品成形加工メーカーの進出状況を概観する資料。

## 第1編 総論

### 【総論】 日本の自動車市場の展望

- I. 日本の自動車生産台数・国内販売・輸出・海外生産の推移（1998～2007年：台数ベース）
  1. 国内生産台数の推移 国内生産台数の規模維持が課題。
  2. 国内販売台数の推移 自動車購買層が減少、若年層で低所得層が増えるなど販売増は困難な状況
  3. 輸出台数の推移 海外生産体制が伸びに追いつかず、日本からの輸出が増加した。
  4. 海外生産台数の推移 世界同時生産、アジアカー、アセアンを部品輸出拠点とする戦略など
  5. 世界の自動車生産の現状（OICA統計）
  
- II. 日本の自動車生産台数・国内販売・輸出・海外生産の予測（2007～2010年：台数ベース）
  1. 日本の自動車生産台数の予測 2010年で軽乗用車、商用車を含め1,290万台まで伸張。
  2. 日本の自動車販売台数の予測 2010年で約560万台と漸減傾向。
  3. 日本の自動車輸出台数の予測 2010年で720万台と大きく伸びる。
  4. 日系自動車メーカーの海外生産台数の予測 日系カーメーカーの全海外生産は2010年で1,582万台に。
  
- III. 主要自動車用内外装部品メーカーの経営比較（成長率・収益性）2002～2006年度
  1. 自動車内外装部品メーカーの成長性比較（2002～2006年度：売上高ベース）
  2. 自動車内外装部品メーカーの収益性比較（2002～2006年度：経常利益高ベース）
  3. 主要自動車内外装部品メーカーの利益率の推移  
（2002～2006年度：経常利益/売上高ベース）
  4. 自動車部品・自動車用プラスチック成形メーカーの成形部門売上高推移  
（2002～2005年度）
  
- IV. 自動車用内外装部品メーカーの現状
  1. 豊田合成 2. (株)東海理化 3. 河西工業(株) 4. 日本プラスト(株) 5. トヨタ紡織(株) 6. (株)ファルテック 7. クミ化成(株) 8. テイ・エステック(株) 9. カルソニックカンセイ(株) 10. 八千代工業(株) 11. (株)イノアックコーポレーション 12. 小島プレス工業(株) 13. ダイキョーニシカワ(株) 14. 三光合成(株) 15. (株)アーク 16. (株)タカギセイコー
  
- V. 自動車メーカーのアジア戦略
  1. トヨタ自動車のアジア進出状況
  2. 日産自動車のアジア進出状況

### 3.本田技研工業のアジア進出状況

北米が約 139 万台で国内と匹敵する生産規模。アジアの生産台数が急増、2006 年度には約 67 万台。

重点拠点は中国、インド、タイの 3 国。中国では 100 万台の販売目標。

### 4.マツダのアジア進出状況

フォードとの協業体制を強化。マツダのアジア地域での生産台数は 2006 年で 31.5 万台、生産能力は計画中を含め約 85 万台。

### 5.スズキのアジア進出状況

スズキの 2006 年のアジア生産台数は約 90 万台。インドで約 63 万台と同国自動車生産台数の約 30%を生産。中国、インドを中心に約 180 万台の生産能力を持つ。

### 6.ダイハツ工業のアジア進出状況

ダイハツはアジア 5 カ国で自動車を生産、生産台数は約 28 万台、生産能力は約 38 万台。中国で 10~20 万台規模の生産拠点を確保する予定。

### 7.いすゞ自動車のアジア進出状況

いすゞはタイ事業が要。D-MAX の世界生産拠点として位置づけタイ工場の生産能力を 20 万台に引き上げ、GM 委託分を含めピックアップトラック生産能力 35 万台。

### 8.三菱自動車工業のアジア進出状況

## VI. アジア自動車市場と自動車部品メーカー・樹脂成形メーカーの進出状況

### 1.中国自動車市場

2006 年で 728 万台。2007 年で 850 万台、2012 年には 1,700 万台に達すると予想される。

### 2.タイ自動車市場

2007 年の生産台数は 126 万台。2010 年に 200 万台まで引き上げるという政府目標。

### 3.インド自動車市場

2006 年に 200 万台を超え、2010 年に 300 万台水準に達する。2016 年 500 万台。

### 4.その他の自動車市場

(1) マレーシア 国産車構想が頓挫、外資の投資を呼び込む政策に転換

(2) インドネシア 日系メーカーの独断場。輸出拠点として生産拡大。2010 年に 60 万台規模に。

(3) 台湾 30 万台規模の生産台数

(4) フィリピン

(5) ベトナム

## VII. 自動車用プラスチック部品の開発状況、素材動向

### 1.モジュール化の進展

- 2.リサイクルプラスチックの採用動向
- 3.バイオプラスチックの採用動向
- 4.主要自動車用プラスチック部品の材料動向・成形加飾技術と主要サプライヤー
  - (1)バンパー（フロント、リアバンパー）
  - (2)インマニ
  - (3)樹脂タンク
  - (4)インパネ
  - (5)ドアトリム
  - (6)成形天井
  - (7)バックドアモジュール

## 第2編 企業個表編 自動車内外装部品、車載電装品など自動車用部品の成形メーカー917社の概況

収録データは2003～2005年度。1ページ6社組み、917社の企業概況を収録。

## 第3編 参考資料

- 1.全国プラスチック成形加工メーカーの成形加工部門売上高推移  
（2001～2005年度：売上高ベース）
- 2.全国プラスチック成形加工メーカーの需要分野別構成（2005年度）
- 3.全国プラスチック成形加工メーカーの利益率によるランキング（2001～2004年度）

巻末：企業索引